

せ ん ぼ 通信 No.114

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「原発事故」

3・11あれから13年…生まれた子供達は、4月から中学生に。経験のない放射線量の恐怖…「直ちに体に影響はありません」とくり返した枝野官房長官。それでも、多くのお母さんが子供を連れて県外へ避難。その子供さん達が成人して、避難した所で…また、ふる里で…「お世話になった人達に恩返ししたい…」と。見えない魔物から、必死に子供達を守ろうとした思い…その中で育まれた姿なのでしょう。子供の生きる力は、大人が思うより強い…。

時が流れてもありがたくないのが、爆発で壊れた原発。13年経っても良いほうには変わらず地震があるたびに、原発は？…と不安に。

(荒れ狂った複数の怪獣を、鎖でグルグル巻いて、焼け石に水のように永遠に水をかけ続ける…地震や劣化で鎖が切れて再び暴れだしたら…)

過酷で危険な廃炉作業にたずさわっている、若い作業員さん達のために…悪条件の中でもおとなしい原子炉でいて下さい。

出し方も消し去ることも置き場所もないないづくしその名はデブリ

大人になったマリーだけど…

ワンワンなかないワンちゃん
ア～アキャンキャン…ウ～ギャギャギャ…
「ワンワンって聞いたことない。誰が来ても吠えないし…散歩に行きたい時だけ、キャンキャンさわいで…さわぎ方はお前そっくりだけど、野良犬にエサ食われても吠えねーんだ」と夫。
私そっくりだわ…私、自分の分食べられてもだまっているから… 夫は、「・・・」
好きな人が来ると、尻尾を振って寝転んで、かまってちゃんポーズ…いっぱいの人に撫でてもらい…可愛がってもらおうワンちゃんは初めて…。吠えなくたっていいよ…
目がとっても優しくカワイイ…美女犬だもの。

区長さんと民生委員さんのお世話で、行政区より75歳以上の皆さんにお弁当が配られました。コロナ禍で、敬老会やお食事会が中止になってから、2月に一回だけ続けられています。配るのは半数近くのお家で、やはり…こ・う・れ・い・か…ですね。

初めて届けられた方は、「うふふふ…やっぱり後期高齢者になっちゃった…ってことね」

私はまだまだ若いからいらない…って言わなかったの？(笑)

「言わないわよ、おいしかったよ」と笑顔で。高齢でも元気な皆さんがいっぱいのは山神ですが、外に出られないこの時期に届くお弁当は、ささやかでも地域のつながりに。民生委員の大河内さんこれからも見守りお願いします。



写真 繭子

カタコトのイヤイヤ期また楽し春

〒963-1245 郡山市田村町柝山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2024・3・1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail:kaikuu-0305@docomo.ne.jp